

小・中学校の適正規模に基づく学校再編に関する地域懇談会 記録

奥州市立小中学校適正規模等検討委員会

地区名	江 刺 南 地 区		
日 時	平成 29 年 11 月 14 日 (火) 18 : 30 ~ 20 : 00	会 場	藤里地区センター
出席者	事 務 局	教育長、教育部長、学校教育課長	
	検討委員	副委員長 他 3 人	
	地域住民	1 9 人	
◆主な質疑内容			
(質問)		(回答)	
○学校の先生方がどのように考えているか、また、子どもたちの思いを汲み取る配慮があってもよいのではないか。		○各地域で提言いただいた内容や、統合校の子どもたちの意見を聞きたい等という声を検討委員会で検討し、必要となれば実現していく。	
○前沢小の統合前は、地域が各小学校単位で動いていたと思うが、学校が統合したことで、地域がどのように動いているか。		○地域ごとに活動している例も聞くが、把握はまだしていない。	
○江刺は何故統合が進んでいないのか。		○前沢も胆沢も、地域の方々のこうしたいという願いをもとに統合に係る協議が始まっている。統合が進まない理由は、学校が地域で非常に大切な存在になっていることが大きいと思われる。	
○今後の懇談会の進め方、スケジュールがあれば教えてほしい。		○地域懇談会は今回で終わりではない。来年度以降も開催したいと思っている。同じ内容ではなく違った視点でご提案しご意見等をお聞きしたい。	
◆主な意見・要望の内容			
○小規模で一人一人に目が届くのはよいが、世の中に出るときに井の中の蛙ではいけない。中学校は部活動に選択肢がない。“チームを組んで試合ができない”の状況ではいけないと思う。親や地域のエゴではなく子供たちのことを本当に考えるのであれば、規模を適正にして、予算のことも考えてきちっとやってほしい。			
○いきなり 100%の実現ではなくても、部活動なり子どもたちの活動を充実できるような内容での 20, 30%でもよい方向になるようにスピード感をもって進めてほしい。			
○いじめがなく友達を大切にすることを大事にしてほしい。マンモス校にならない程度に統合してほしい。			